

新時代へ

事務局だより I N F O R M A T I O N

KIMASSI

KANAZAWA

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

2019年1月

金沢問屋センターニュース

Vol.133
January

新年互礼会
平成31年の経済見通し
亥年男大いに語る
第13回キマシカップボウリング開催
わが社をPR
事務局だより

11月

- 5日 理事会
 - 1.総務委員会より
 - (1)中間決算について
 - (2)出資金見合いの緊急融資について
 - 2.組合運営委員会より
 - (1)町内一斉清掃について
 - 3.厚生委員会より
 - (1)ゴルフ大会について
 - (2)幹部社員研修会の開催について
 - (3)インフルエンザ予防接種の実施について
 - 4.情報戦略委員会より
 - (1)金沢市卸売業競争力強化支援事業について
 - (2)BCPについて
 - 5.活性化委員会より
 - (1)11月間曜日プロジェクトについて
 - (2)11月イベントについて
 - (3)12月イベントについて
 - 6.問屋町交通安全対策協議会より
 - (1)違法駐車を取り締まりについて
 - 7.青年部会より
 - (1)10月定例会について
 - (2)11月定例会について
- 20日 AI特別講演会 12社21名参加
「人口知能は未来の経済をどう変えるのか？」
講師/駒沢大学経済学部 井上 智洋准教授

12月

- 3日 理事会
 - 1.総務委員会より
 - (1)新年祭について
 - (2)新年互礼会について
 - (3)景況調査について
 - (4)生活習慣病予防健診について
 - (5)喫煙室の改修について
 - 2.組合運営委員会より
 - (1)会館各種修繕工事について
 - 3.厚生委員会より
 - (1)第13回キマシカップ・ボウリング大会(第37回ボウリング大会)について
 - (2)幹部社員研修会の開催について
 - (3)インフルエンザ予防接種について
 - (4)経営者研修会について
 - 4.情報戦略委員会より
 - (1)金沢市卸売業競争力強化支援事業について
 - (2)BCPについて
 - 5.活性化委員会より
 - (1)「防犯カメラ設置に係る補助金制度」の募集状況
 - (2)12月間曜日プロジェクトについて
 - (3)ムック展示作品の買上制度について
 - (4)問屋まちスタジオ使用貸借契約更新について
 - 6.青年部会より
 - (1)11月定例会について
 - (2)1月定例会について
 - 7.事務局より
 - (1)事務局の年末年始について
- 25日～28日 インフルエンザ予防接種
65社 747名受診

案内① 談話室リニューアル

4階談話室の机と椅子を新調し、壁紙も新しくしました。スクール形式でのご提供になり、30名(2名掛けで20名)まで収容可能です。皆様のご利用をお待ちしています。



案内② 新作品がアートパーク「mu-ku」に登場

11月20日(火)、「mu-ku(ムック)」の展示作品を入れ替えました。ぜひご覧ください。なお、旧作品「どこまで見える(丹羽啓作)」は北日商事(株)前に移転しましたので、併せてご鑑賞ください。



【作品名】 変わるもの
変わらないもの
【作家】 金沢美術工芸大学
院生 小孫 ちさと

編集後記

「アマゾンエフェクト」という言葉がよく聞かれるようになりました。ネット販売のアマゾンが参入してきた商品の消費者購買行動が大きく変化し、販売チャンネルにも影響を与え、従来の勝ち組が一転して守勢になることだそうです。

私が従事する仕事でも、ネット通販は販売でも個人的な購入でも日常の当たり前になってきました。今後、キャッシュレス等の動きも活発になる中、その道具としての「スマホ」に対し研修会で学んだ「スマホファースト」の考え方を一層敏感に学んでいきたいと思う今日この頃です。

(A・M)

第11回 石川県新人学童野球選手権大会 兼 協同組合金沢問屋センター旗争奪大会 中条ブルーインパルス2年ぶりの優勝

11月3日(祝)・4日(日)金沢市内川スポーツセンターを主会場に開催されました。5年生以下の新チームとして初めての県大会となるこの大会に、県下16チームが出場し熱戦を繰り広げました。

開会式では、宮地学童野球連盟会長から当組合に対する感謝の言葉を頂き、当組合高桑理事長が参加チームの皆さんへの激励の挨拶を述べました。

優勝は昨年、当団地50周年記念式典の学童野球支援セレモニーにもご登場頂いた、中条ブルーインパルス(河北支部代表)でした。試合巧者の中条ブルーインパルスが鳳珠支部代表松波クラブを抑えて2年ぶりの頂点に輝きました。

また閉会式では、高桑理事長が優勝、準優勝それぞれのチームの健闘を称え、選手一人ひとりにメダルを贈呈しました。



中条ブルーインパルスの皆さん。

2019年 決意を新たに 新年互礼会を開催



約160名の参加で
和やかに新年をスタート

平成31年1月4日(金) 14時30分より金沢流通会館にて新年互礼会を開催しました。お陰様で今年も160名を超える組合員、関係者の参加を頂き、新年にふさわしい華やかなスタートを切る事ができました。また例年通り、谷本正憲石川県知事をはじめ政財界から多くの来賓をお迎えし、新年のご挨拶を賜りました。



互礼会は
国家斉唱、
三廓合同の
ご祝儀「金
沢風雅」な
どに始まり、
続いて当組
合の高桑幸

ご来賓の皆様から
ご祝辞を賜りました



谷本正憲石川県知事
金沢港の機能向上や
県央土木総合事務所について

一理事長が新年の挨拶をいたしました。その中では、昨年を振り返りながら周辺の環境整備の進捗状況にも触れ、本年2月に予定している「トップ会」についても開催に至った経緯などを述べました。



馳浩衆議院議員
TPPやEPAなど
外的要因について



山野之義金沢市長
市政130周年と
改元の関係について



乾杯のご発声は石川県
中小企業団体中央会の
山出会長に。

新年らしい和やかな雰囲気の中、会話も弾む。

金沢市産業功労賞受賞
小川商事株式会社 社長 小川 榮一氏

永年、婦人服等卸売業に携わり、日本海側で自社ブランドを持つ数少ない専門商社として社業を発展させてこられました。また北陸婦人服振興会会長やいしかわファッション協会会長として、地域の Apparel 業界の発展にご尽力されました。



岡田直樹参議院議員
北陸新幹線敦賀延伸や
大阪万博について



山田修路参議院議員
地域の活性化における
企業の役割について



宮本周司参議院議員
個人事業者の事業承継税制や
キャッシュレス決済について



安宅建樹金沢商工会議所会頭
消費税の増税や
世界経済の見通しなどについて

平成31年の経済見通し

米中の覇権争いが世界経済に 与える影響を注視すべき一年に



株式会社北陸銀行金沢問屋町支店
支店長 江守 賢

新年あけましておめでとうございます。2019年の新春を迎え、皆さまに謹んでお祝いを申し上げますとともに旧年中賜りましたご厚意に対し心よりお礼申し上げます。

2018年の振り返り
昨年は、1月に株式市場で日経平均株価が2万4124円15銭と26年ぶりとなる高値を記録し順調な滑り出しとなりました。2017年から続く世界経済の回復、企業業績好調を背景に成長軌道を辿るの、かと思われましたが、2月初旬には米国の長期金利急騰を背景に世界同時株安を招き、NYダウは過去最大の下げ幅、日経平均は一時1600円超の下げ幅を記録しました。その後、イタリアをはじめとする南欧の政治不安、米国の金利上昇に伴う新興国通貨下落、米中の貿易摩擦懸念など世界経済の不透明感の高まりから、金融市場は進退の状態が続いた年でした。

と堅調な企業業績を背景に雇用環境の改善が続いています。賃金上昇の伸びは低いものの、個人消費は底堅く推移している状況です。昨年の漢字「災」が象徴するように、西日本豪雨、北海道胆振東部地震など多くの自然災害に見舞われた一年でもありました。インバウンド需要の減少により景気は一時下押しされましたが、総じてみれば安定した一年だったのではないのでしょうか。12月には2012年末より始まった景気拡大が高度経済成長期のいざなぎ景気を超える戦後2番目の長さであると発表もありました。日銀の大規模な金融緩和策に伴う円安と、スマホ向け電子部品や半導体製造装置等の輸出が好調に推移し、世界経済の回復に合わせて外需が日本の景気回復を支える形となっています。

2019年の見通し
それでは2019年の日本経済を考えるにあたり、まずは世界経済についてみてみます。米国の景気については足元の懸念材料が更に顕在化し景気失速にまでつながらるか、あるいは緩やかな減速で踏み止まる可能性があるかが、今年の二つの焦点ではないでしょうか。

米国内の非農業部門雇用者数は高い伸びを見せ、失業率は10月末に3.7%と歴史的な低水準が続いています。賃金水準についても2009年以来的の高い伸び率となっており、良好な雇用・所得環境が底堅い個人消費を支える構図が今年も続く公算です。一方で、リスク要因として考えられるのが

トランプ政権の通商政策と財政政策の動向です。昨年12月の米中首脳会談では、貿易戦争の一時休戦で合意されましたが、知的財産権保護や技術移転、米中間の地政学的な覇権を巡る争いは今も見え隠れしており、今後更なる関税率の引き上げなど貿易戦争が再燃する懸念は拭いきれません。

また貿易赤字の解消が自国の産業・雇用保護のために必要だというトランプ政権の主張から、対中国のみならず保護主義的な通商政策が更に広がることも考えられます。通商摩擦の警戒による機械投資減速、輸出減少により景気下振れが予想され、内外経済へのマイナス影響は避けては通れないでしょう。

昨年11月の米国中間選挙で民主党が下院で過半数を獲得し、2年ぶりに「ねじれ議会」となりました。これまで大規模減税・歳入増大策など財政を使った景気対策を打ち出すことにより米国内需を押し上げて来たトランプ政権ですが、議会の勢力図が大きく変化した今、大胆な景気刺激策が打ち出しにくい状況となっています。通商問題を始点とした不透明感が高まる中、力強い景気拡大は望めないでしょう。

次に中国経済を見てみましょう。中国では貿易摩擦を背景に輸出・投資等の減速基調が強まっています。既に対米輸出品の多くに関税が課されていますが、米中間で更なる品目への追加関税も十分に考えられ、対米輸出の悪化、関税賦課に起因する中国企業・家計部門の実質的な所得減少によるGDPへの下押し圧力は避けては通れないでしょう。中国は輸出依存度が米国より高い分、貿易競争の拡大による経済的なインパクトが大きくなります。中国は輸出依存度が米国より高い分、貿易競争の拡大による経済的なインパクトが大きくなります。中国は輸出依存度が米国より高い分、貿易競争の拡大による経済的なインパクトが大きくなります。

2か国の経済動向には注視する必要があります。中でも米中貿易摩擦は、これまで日本経済を支えてきた外需に大きな影響を与えていないでしょうか。世界的にスマホをはじめとする電子機器需要もピークアウトしており、中国景気が下振れることで、好調を維持してきた半導体製造装置をはじめとする日本の対外輸出の減少が予想されま

外需が鈍れば頼みは内需です。10月に控えている消費増税については、政策が各種抑制策を打ち出しており、前回増税時に比べ影響は限定的となる見通しです。労働需給のタイト化から、雇用環境は引き続き改善し、賃金についても着実に上昇が続く見通しです。個人消費は増税前後で多少の増減はあるものの底堅く推移するのではないのでしょうか。企業部門については、人手不足に伴う効率化・省力化を目的とした設備投資、首都圏における再開発案件などの建設投資、東京オリンピックを控えたインフラ関連投資など設備投資は堅調に推移する見通しです。

2019年は内需が底堅さを維持する一方、世界経済の不透明感の高まりから外需が下振れし、景気回復局面から景気鈍化へシフトする一年となるのではないのでしょうか。

石川県については、依然新幹線効果は持続しており、インバウンド需要の増加やホテル建設ラッシュなど経済を支える材料があることから、緩やかな景気拡大を予想しています。県内企業については人手不足感が強まっており、生産性向上に向けた設備投資需要が増加しています。地元金融機関として地域のお取引先の経営課題解決に向けたアドバイスや資金需要にはしっかりとお応えしていきたいと思っております。

最後になりますが、年頭にあたり、皆さま方ますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに、本年も昨年同様にご指導賜りますようお願い申し上げます。

30年後に振り返る“今”



株式会社シケケミカル
代表取締役社長
黒木 重雄

明けましておめでとございます。協同組合金沢問屋センター内各企業にお勤めの皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。私を含め今年還暦を迎える昭和34年生まれはともきりが良く、昭和を30年、平成を30年とちょうど半分ずつ生きてきました。多くの同輩は平成が短かったと感じていると思いますが、定年50歳人生60年と言われた頃から思うと、今や定年は65歳で間もなく70歳に、人生100年の時代となりました。そして5月1日からは、新しい元号がスタートしますので、あと30年元気に生きられればと思っています。

さて、昭和・平成を駆け抜けた60年はどんな時代だったでしょうか。戦争が終わり世の中が落ち着き始めた頃に私たちは生まれ、東京オリンピック、大阪万国博覧会を経験し、日本って凄いなと思ってきました。自動車・電気機器・精密機器等の性能が世界で最も良く世界中で使われていることが誇らしく、日本が一番と思わせる目覚ましい発展を遂げてきました。モーターと言われるサラリマンがいて、トレンドイイな生活に憧れ昭和を終えました。平成に入ってもコマーシャルで「24時間働けますか」と問われ、頑張ってもっと頑張っていた矢先にバブルが弾けました。その後20年を経てやっと復調してきた感じです。

しかしながら、海外製品が少なく舶来品などと言って貴重品扱いされていた小さい頃とは状況が一変し、衣類はもちろんハイテク機器等アジア各国で製造された商品が日本中に溢れ、気が付けば日本製の方が貴重品になっていました。インターネットは世の中を大きく変えました。これから今以上に変わっていくことは間違いありません。30年後の世の中はどのようになっているでしょうか。正直、既に置き去りになってしまっている感があります。が、それはそれとして新元号スタートの年、1日の出来事1年の出来事を楽しみながら、健康に気を付け30年後に今を振り返ってみようと思います。

「AI(人工知能)は未来の経済をどう変えるか?」
11月20日(火)、AIが社会に与える影響を経済学の視点から分析している駒沢大学経済学部准教授の井上智洋氏をお招きし、特別講演会を開催しました。AI(人工知能)とはどのようなものか解説したうえで、歴史上の産業革命を引き合いにAIが社会に普及する段階での雇用環境の変化について見解を示されました。

又年



男大いに語る

キラいなことからチャレンジを?



有限会社吉野利工具
吉野 淳平

新年明けましておめでとございます。協同組合金沢問屋センターの皆様には口頃からお世話になり誠にありがとうございます。

今年で36歳の年男です。今回、歴代錚々たる方々が担ってこられた伝統あるテーマをお受けするということで大変恐縮ではありましたが、せっかく頂いた機会と捉え、野球界のスーパースターであるシアル・マリナーズ所属のイチロー選手の「努力

力」に関する名言を「紹介したい」と思います。

私もイチロー選手に大きな影響を受けた人間です。当時小学生で友達とよく野球をしていましたが、打席に入ってから「バット立て」からの「振り子打法」は真似をしました(笑)。小学校の卒業作文でも、尊敬する人にイチロー選手を挙げました。そんな皆様ご承知のイチロー選手は「努力の天才」とも言われ、輝かしい実績の陰には並々ならぬストイックな日々とたゆまない努力が存在します。そして独特の言葉で多くの名言や格言を残しています。その中

から一つ、「紹介します。『キラいなことをやれと言われてやれる能力は、後でかならず生きてきます』」

嫌いな仕事を上司に頼まれたらいかがですか?「えーっ?なんで私がやらんとだめなん!?」そう思う方がほとんどでは?しかし、「嫌いなことから逃げず、文句を言わないでやる。それがその人の将来の糧になる。そのイチロー選手が言っておられると、私なりに解釈しました。皆様、幾つもの課題を抱えながらそれを日々こなしておられることと思います。ぜひ「嫌いな仕事」苦手

な仕事」から優先的に着手してはいかがでしょうか。もしかしら嫌いな仕事が好きになったり、今まで知らなかった「自分」をより早く発見できたりするかもしれません。そしてそれが自己成長につながり、会社にとって替えの利かない存在になります。嫌なことを放っておくとますます嫌いに、苦手になりますよ。言うのは簡単ですが、私自身胸に深く刻み込み、日々精進して参ります。最後になりましたが、協同組合金沢問屋センター皆様の益々の活躍を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願致します。

第13回

キマッシカップ ボウリング大会開催

第37回 商社対抗 ボウリング大会

第13回キマッシカップ・ボウリング大会が、11月8日(木)に21社34チーム100名(男性59名・女性43名)が参加してマンボウ金沢にて行われました。団体の部は株丸菱が制し、ソフトボールに続いて2冠を達成しました。



(株)丸菱はソフトボールに続く優勝で2冠達成。

- 【団体の部】
- 優勝 (株)丸菱A 943点(平均157.2点)
 - 準優勝 金沢市水道サービス公社 900点(平均150.0点)
 - 第3位 (株)ダスキン北陸B 815点(平均135.8点)



男子の部優勝は松原真珠さん。



女子の部連覇の山本文子さん。

- 【個人男子の部】
- 優勝 金沢市水道サービス公社 松原 真珠 367点 (174点/193点)
 - 準優勝 (株)丸菱A 木田 文彦 357点 (163点/194点)
 - 第3位 理光商事(株) 平野 智宏 339点 (152点/187点)
- 【個人女子の部】
- 優勝 (株)シケケミカル 山本 文子 293点 (138点/155点)
 - 準優勝 (株)丸菱A 田中 李枝 272点 (143点/129点)
 - 第3位 中央自動車工業(株) 辻 聖恵 271点 (105点/166点)

各セミナー報告

ITセミナー

第3回(11月28日・遠田幹雄氏)と第4回(12月12日・竹内幸次氏)を実施。お客様(検索する人)目線での情報発信の重要性、ホームページのHttps化を急ぐべきであることなどが説明された。

消費税軽減税率講習会

新たに導入される制度への不安を少しでも緩和できればと、10月22日、全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)との共催で実施した。講師は、公認会計士・税理士の曾川俊洋氏。

幹部社員研修会

「営業商談力アップ術」をテーマに12月18日実施。ITセミナーでお馴染みの竹内幸次氏を講師に、商談力向上のための実践的セミナーとなった。

わが社をPR

株式会社 中セキ北陸

農機を軸に7つの事業を展開



スマート農業を支える井関農機の田植機やロボットトラクタ。

井関農機が製造する農機具の販売、修理・サービスを中心に7つの事業を営んでいます。そのうち農業関連は4つ、農機事業のほかにライスセンター等の設計施工を行う施設事業、育苗や野菜用

培土を製造販売する培土事業、そしてコイン精米事業があります。

今、農業がおもしろいと言われ、農家を重労働から解放しようと機械化が爆発的に進んだ戦後高度成長期にも匹敵する変革の波が来ています。AIやIoT、ロボット技術、ドローンなどの新しい技術が登場し、国の後押しもあって一気にスマート農業に向かっている。それによって農家の生産性が飛躍的に高まり、小規模でも競争力を手に入れることができますし、ここ金沢からの輸出という事例も出てくるでしょう。農業新時代を農機でバックアップできるビジネスチャンスでもあります。

コイン精米事業なら、農家さんだけでなく一般の方にも身近に感じて頂けるのではないのでしょうか。北陸三県で約280台の精米機が稼働し、コインや糠の回収、清掃などの管理は自社で行い、我々幹部も年に2回、掃除にまわります。「食」を扱うわけですから、クリーンであることが基本。そういった地道な部分をおろそかにしないという意識は言わずとも社内に浸透し、農業以外の事業にも流れています。「あ、中セキさんなら安心だね」と思って頂けるとありがたいです。

取材×モ

これは意外!農外事業が3つ

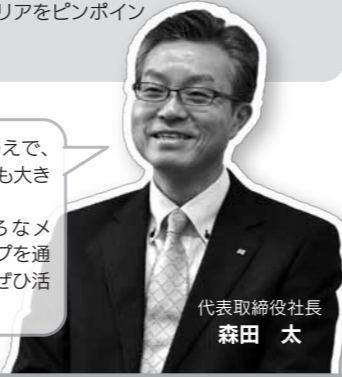
多角化の一環として始まった事業は、農機のイメージからちょっと遠い意外なもの。発想が面白いだけでなく、長年農業と向き合ってきた実直さをもって、売上に貢献する事業へと育ててこられました。

レンタル事業 ●建設機械、土木機械やトラック、発電機のレンタル事業。小規模のお客様に便利な機械が揃い、気軽に短期間でも借りることができる。

グリーン事業 ●芝を傷めない特殊なトラクターや芝刈り機などをゴルフ場に納めている。実は、中セキの芝刈り機は高性能で耐久性があるとヨーロッパでは有名。

ミッド事業 ●ポストイン事業。金沢20万戸を網羅できる体制を整え『金沢情報』とは創刊当時からのおつきあい、市の広報誌等も配布している。全国のポストイン会社とのネットワークがあるので、全国どの地域でも紙媒体による情報発信が可能。逆に、小さなエリアをピンポイントで配ることもできる。

7つの事業を展開するうえで、中セキブランドへの信頼も大きかったと思います。各事業部ではいろいろなメニューでインターンシップを毎年受け入れているので、ぜひ活用してください。



代表取締役社長
森田 太